

# あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

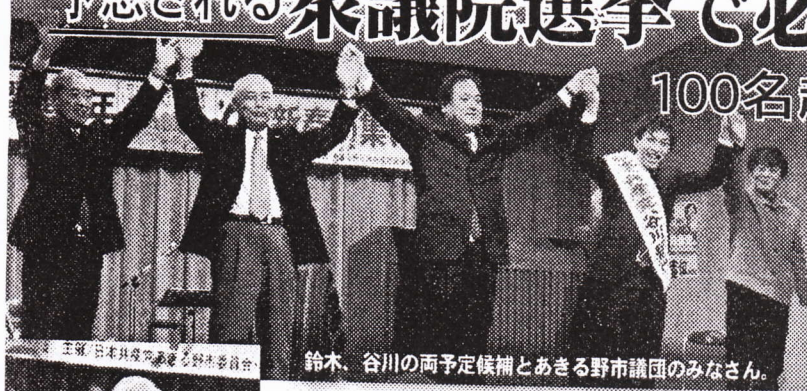
住民の利益をまもり、  
「住民こそ主人公」の  
あきる野市政実現をめざして！

2008.1.27 No.479 (毎月2回発行)

日本共産党あきる野市委員会はつぎの見解を発表しました。

## 楽しかった! 温かかった! 確信もてた! 予想される衆議院選挙で必ず勝利しよう

### 100名を超える参加で熱気一杯!



鈴木、谷川の両予定候補とあきる野市議団のみなさん。

「集い」は、威勢のよい法被姿の中山太鼓とかわい子どもたちのぼんぼこ太鼓の演奏で始まり、温かい雰囲気になりました。松平重幸党市委員長と党市議団を代表して戸沢弘征市議団長が新年のあいさつ、「共産党に自力をつけ総選挙を前面にがんばる」と抱負を語りました。

日本共産党あきる野市委員会とあきる野市後援会は20日、「躍進の年・08年新春の集い」を開きました。会場の五日市交流センター「まほろばホール」は寒さのなか百人を超える参加。心うつつお話と演奏に、拍手と笑い、全員合唱などで会場はひとつになりました。



ぼんぼこ太鼓と中山太鼓の演奏。

続いて衆議院選挙東京25選挙区候補に決まった鈴木おさむ党西多摩青梅地区委員長が決意表明。さらに日本共産党衆議院比例代表(東京ブロック)予定候補の谷川智行氏があいさつしました。決意表明に立った鈴木25区予定候補は、「自民党



「ふるさと五日市」を熱唱する柳川さん。

大企業優先政治の転換だと訴え、その中でテロ特措法をめぐる自民党を助ける民主党の態度を厳しく批判しました。そして衆議院

の転換を求めたい。一つはアメリカいいなりからぬ

けだす、もう一つは

比例代表候補の谷川氏は「薬害C型肝炎被害者への一律補償実現などの例をあげながら、声を上げれば政治を動かすことができる、そのことに確信をも

てさらに前進したい。医療現場で働く医師として、地域医療の崩壊や後期高齢者医療制度を告発、命を守る当たり前の政治の実現のためにいっしょに頑張ろうと呼びかけました。政治を動かすために二つの転換を求めたい。一つは

政治にも民主党にも展望は示せない。行き詰まった自民党政治を変える新しい政治を共産党が示して主力で前進するその先頭に立つと熱く訴えました。

あばらしき

こどもぐらし

たばた あずみ

ちいさい人を病院に連れて行くのはひと仕事。痛い治療をする場合は仕方ないにしても、聴診器を当てるだけ、口の中を見るだけでおさわぎ。

でも、見慣れぬ部屋に連れ込まれ、知らない人に囲まれ、押さえつけられ、あちこち調べられるとしたら。おとなだってこわいですよね。こどもが泣くのも当然です。

「お耳が痛いから、病院でもしもしてもらおう。お鼻もチューするよ。」

「ムシムシしないかなって、お口を見てもらおう。」何のために、どこで、何をするのか。ちいさくても、説明しておくところが重要です。それでも泣くひとは泣きますが、だんだん我慢できるようになりますから、もうしばらくの辛抱辛抱…。がんばろうっ。

(08.1.27) 連絡先は ☎550-6674

**急告** 2月13日 6時開場

**「日本共産党大演説会」** 有明コロシアム

あきる野から貸切りバスが出ます。(2000円)  
五日市駅前 4:00 → ヤサカ前 4:15 → 秋川駅北口 4:20 → あきる野市役所前 4:23 → 二宮サミット電器店前 4:30 → 会場へ。

▼今年の新成人に対する民間調査会社のアンケート調査結果が新聞に掲載されています。その報道では、日本の未来について47%が「暗い」と回答、どちらともいえない、わからないが43%、「明るい」と答えたのはわずか9%です。政治68%や選挙(61%)に関心があると答えた新成人の割合も5年前(58%と43%)より大幅に増加しました。▼年金、雇用、増税、地球環境問題など様々な問題が山積みとなる中で政府や政治への不信感を募らせ、関心が高まってきているのではないのでしょうか。▼あきる野市でも14日、キララホールで成人式が行われ、新成人の誓いの言葉の中で、新自由主義の下で格差が広がっている…との趣旨の発言がありました。▼今年は、総選挙の年になりそうです。新成人を迎えた若者がまず選挙に行くことが政治を変える大きな力になると思います。平和で若者が未来に夢が持てるような政治への大転換の年になるように共に頑張りましょう。

野良望

(山根)

# 各地域後援会が動く 後期高齢者医療制度で



「廃止へ」―草花後援会で反対署名  
草花後援会で、中止・撤回のための署名運動を、先月(19日)に行いました。パークハイツ団地は、党の支持基盤の進んでいる地域で医療全般の話も出て心よく対話が進みました。結果は対象九十軒の内、留守を除き

## 五日市後援会で集会を予定 後期高齢者医療制度ってなに?

2月19日2時、五日市交流センター第2研修室で

五日市後援会では、よく知られないまま実施されようとしている、この制度の内容を知って、この制度の中止・撤回を政府に迫っていく運動を地道の方に広く呼びかけたいと取り組みを強めています。

## 「廃止へ」―草花後援会で反対署名

三七軒一筆でした。若い奥さんは「父母は制度を知らないと思うのでよく話しておきます」などの話が寄せられました。制度開始になって高齢者の方々が慌てるのではなく、一日も早い制度撤回に向けた運動を進めなければなりません。

### 「憲法まもれ」―新たな出発にむけて⑬

戦争はいやだ!と言いつづけること...

雨間在住 華房千代子

小学校四年の時、学校で見ました。歌の想いが理解できなかった巡回映画「折り鶴の少女」が私の平和の原点です。被爆したの事は幼い私の胸にし十二才で亡くなった佐々木貞子さんに共感し、クラス全員で千羽鶴を折り広島へ送りました。

六年の担任の先生は「原爆エネルギーに、平和を守ることが自分のバックボーンに

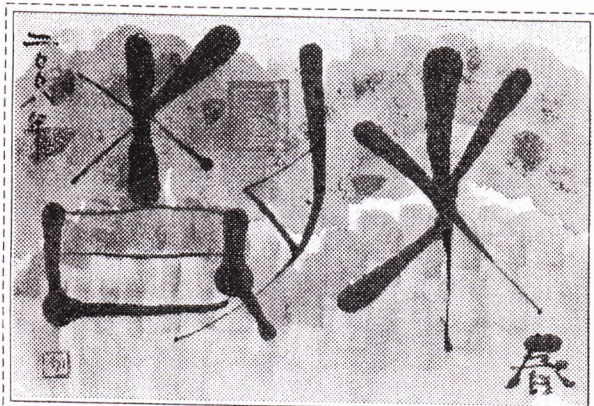


桐の木と花

なっていました。教師になって自分の思想形成の過程を振り返った時、子どもに与える教師の影響の大きさを思わないではいられません。押し付けてなく事実をきちんと教えることで子ども達も自分で考える力を育みたい、しっかりとした学力と平和を愛する心を育てたい、と考えて三十三年間頑張りました。

五年生を担任した時は、大川悦生作「お母さんの木」に取り組みました。七人の息子

全てを戦争に取られ、息子の身代わりに植えた桐の木に語りかけるお母さん。「何もお前たちのせいではないぞえ。日本中の父さんや母さんが弱かったんじや。みんなして、息子を兵隊にはやらね、戦争はいやだ!と一生懸命言うところらこうはならんかったでなあ」子ども達に読み聞かせるたびに胸がいっぱいになりました。今、私も自分に言い聞かせています。戦争はいやだ!九条を守れとみんなでおもう、まず自分から言おう。



絵手紙/瀬川和子さん・牛沼在住  
(古代文字で「春」を描きました)

桶上がりの兆ひか店からハター踏え  
日曜日線に牽かれてイオン詣  
支持率が下がってがあと態度暖え  
今の世はりタイアしてもなせむ忙

西川昇  
西川昇  
松頼坊  
松頼坊

## 歴史探訪

### 第59回 唐沢武一さんに聞く昔の二宮①



JR五日市線 (東秋留駅)

唐沢武一さん(二宮在住)は明治四十四年生九十六才です。若い頃の二宮の情景を思い出として話しておきたいと紹介があり、聞いてきました。私の感想として、二宮神社を中心として宿場町として発達したと推測する二宮のイメージが一変しました。二十才まで青梅に住んでいた私の多西周辺の思いは、栗林と農産物を生活の糧として発展し、村から町へと変遷してきた感慨があります。しかし二宮宿は、歌舞伎を中心とした歓楽街が広く近隣の人々に知れ渡っていたようです。従ってあきる野の中で、二宮だけは過去に特殊な街づくりがあり、人々の遊興により繁栄した時期があったことが伺えました。

「昭和初期の二宮神社の下は歓楽街で一晩中賑わって、まるで不夜城のようでした。それは大正五年頃に電気が通り、その後五日市線を通すために、一面田圃であった所を埋め立て、線路に沿った周辺が住宅地に変わっていった事にありますが、何より二宮歌舞伎が知れ渡った事にあります」

娯楽が少なかった時代、二宮歌舞伎の見物と帰りの飲食の必要性から料亭ができ、遠方からの富裕層に加え地元元の養蚕業によって裕福であった人達が利用、不夜城とも云える歓楽街を二宮に形造りました。(続く)

草花 木崎秀治

## 俳句

冬の芽乳房を金む嬰を見つめ  
ふるさとの訃はじける初電話  
似合いたるミルクのコート年新た  
焦げ癖の鍋のひかりて春兆す  
子の遊ぶ風揚げトランプバトミントレ

(勝代)  
(淑子)  
(富子)  
(かほる)  
(やす子)

除夜の鐘聞く暇なき子の帰省  
未の子に母のぬくばせかるたとり  
元朝の父母の仏壇鉦鳴らす  
新巻の切りわけられて届きけり  
七福神巡る駿河の源氏山  
大年や枕重ね積むわんこ蕎麦

(るり子)  
(つや)  
(忠治)  
(恵代)  
(静子)  
(香治)